

別添 36（Ⅱの第 4 の 3（3）ウ（イ）関係）

番 号
年 月 日

〇〇〇〇（生産者グループ名）の長 殿

所 在 地
事業実施主体名
代 表 者 氏 名

令和〇〇年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（永年性工芸作物改植等支援）補助金の交付額の確定通知書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇農産第〇〇〇号農林水産省農産局長
通知）別紙 6 のⅡの第 4 の 3（3）ウ（イ）に基づき、茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（永年性工芸作物改植等支援）補助金の交付額を確定します。

別添 37（Ⅱの第 4 の 3（4）ア（力）a 関係）

番 号
年 月 日

〇〇〇〇（生産者グループ名）の長 殿

所 在 地
事業実施主体名
代 表 者 氏 名

令和〇〇年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（永年性工芸作物改植等支援）に係る実施確認結果通知書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇農産第〇〇〇号農林水産省農産局長
通知）別紙 6 のⅡの第 4 の 3（4）ア（力）a に基づき、実施確認結果を通知します。

（別添資料）

○ 実施確認一覧表（別添 37－1）

実施確認一覧表

生産者グループ名：○○○○○

生産者名	ほ場番号	実施面積	実施確認結果	備考

注：適宜、行を追加して記入すること。

別添 38（Ⅱの第 4 の 3（4）ア（力）b 関係）

番 号
年 月 日

〇〇〇〇（生産者名） 殿

所 在 地
生産者グループ名
代 表 者 氏 名

令和〇〇年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（永年性工芸作物改植等支援）に係る実施確認結果通知書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和〇年〇月〇日付け〇農産第〇〇〇号農林水産省農産局長
通知）別紙 6 のⅡの第 4 の 3（4）ア（力）b に基づき、実施確認結果を通知します。

（別添資料）

- 実施確認一覧表（別添 37－1）（実施確認結果を通知する生産者分の抜粋

品目：（ ）

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち
茶・いぐさ農業機械等リース支援実施計画書

第1 事業の目的

本欄には、事業実施地区における近年の品目〇〇の概要、本事業により導入を希望する農業機械等の活用を踏まえた今後の展開方向について記述すること。

第2 事業計画総括表

1 事業の内容

県名及び市町村名	受益者名	目標	目標数値			受益		事業内容(導入する農業機械等の種類)及び事業量(単価、台数)	総事業費 円	負担区分			備考 (燃油の種類等)
			現状 (年度)	目標 (年度)	増減 (増減率) %	農業 従事者 名	面積 ha			国庫補助金 円	自己負担 円	その他 円	
		1kg当たりの燃油等使用量を削減(%)							0				
		10a当たりの労働時間を削減(%)							0				
		1戸当たりの栽培面積を増加(%)							0				
合計						0	0		0				

- (注) 1 「目標」の欄については、「茶」は「荒茶1kg当たり燃油等使用量を削減」、「いぐさ」は「原草1kg当たりの燃油等使用量の削減」、「10a当たりの労働時間の削減」、「1戸当たりの栽培面積の増加」のいずれかを選択し、記入する。ただし、「茶」の生産性向上に資する農業機械等を導入する場合は、「産物1kg又は10a当たり労働時間を削減」、「産物1kg当たり又は10a当たりの肥料費(施肥量)又は農薬費(農薬使用量)を削減」、「茶の合計の生産量を増加」、「機械の生産効率(単位時間当たり生産数量等)を向上」のいずれかを選択し、記入する。
- 2 「目標数値」の「現状」については、直近3か年の平均値(ただし、新規参入等により現状値を算出できない場合は、当該品目の地域内の類似経営の平均的な燃油等使用量等を基準として利用できるものとする。)とし、確認できる書類を添付すること。
- 3 「事業内容」の欄については、Ⅱの第4の4の農業機械等、「事業量」の欄には、その単価、台数等を記入すること。
- 4 「備考」欄の「燃油の種類等」については、「A重油」、「灯油」、「LPガス」等を記載する(ただし、「茶」の生産性向上に資する農業機械等を導入する場合は省略可)。
- 5 A重油への換算は、以下の比率をもとに計算する。(算定は、経済産業省の「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則」に基づく。) A重油:1.000、灯油:0.939、LPG:1.299、原油:0.977(ただし、LPGで使用量が(m3)単位で示されている場合は、供給業者にt(トン)に換算する係数を確認し算出すること。)
- 6 「備考」欄に総事業費に対する国庫補助金の割合を記入すること。
- 7 「備考」欄に県、市町村等の事業実施主体以外の団体が別途負担する場合には、その団体名及び補助率を記入すること。

2 事業完了予定(又は完了) 令和 年 月 日

第3 事業実施計画の詳細

1 農業機械等の保管・設置場所

農業機械等名	農業機械等の保管・設置場所	導入時期	備 考
		年 月	

(注)「備考」の欄に事業の管理に当たる、責任者を記入する。

2 農業機械等の利用計画

受益者名	本事業で導入する 農業機械等名(型式)	受益農業 従事者 (名)	受益面積 (ha)	台数 (台)	茶セーフティネット の加入	地域計画等へ の位置付け	備 考

(注) 1 「茶セーフティネットの加入」欄は、受益者が事業実施年度に加入している場合は「○」をつけること(ただし、「茶」の生産性向上に資する農業機械を導入する場合は省略可)。
2 「地域計画等への位置付け」については、次の①又は②のいずれかに該当する場合に○を記入する。
①農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第19条第1項に定める地域計画において、目標地図に現に位置付けられ、又は位置付けられることが確実と見込まれること。
②農地中間管理機構(農地中間管理事業の推進に関する法律(平成25年法律第101号)第4条に規定する農地中間管理機構をいう。)から農地を現に借り受け、又は借り受け
ることが見込まれる農業経営体に含まれること。
3 「備考」欄は、いぐさの場合、導入している品種又は今後導入予定の品種を記載すること。

3 リース助成額

農業機械等名(型式)				備考
リース期間	開始日～終了日(※1)	～	(日)	
	リース借受日から〇年間(※2)		(年)	
リース物件取得予定価格(消費税抜き)	①		(円)	
リース期間終了後の残存価格(消費税抜き)	②		(円)	
リース料助成額(注2)	③		(円)	
リース諸費用(消費税抜き)	④		(円)	
消費税	⑤		(円)	
事業実施主体負担リース料(消費税込み) ①－②－③＋④＋⑤			0 (円)	

(注) 1 ※1及び※2については、いずれかを記入すること。

2 リース助成額③は、A、Bいずれか小さい額を記入すること(千円未満は切り捨て)。

A: $(① \times (\text{リース期間} / \text{法定耐用年数})) \times 1 / 2$ 以内

B: $(① - ②) \times 1 / 2$ 以内

3 本様式には事業実施主体のリース助成額を記入すること。なお、本リース助成額の根拠となる、受益者ごとのリース助成額も本様式を活用して算出し添付すること。

4 リース事業者の見積書の写し等を添付すること。

4 リース事業者に機械を納入する業者の選定方法の計画

事業者選定方法	一般競争入札 ・ 指名競争入札 における競争見積 (いずれかに○をつける)
指名競争入札における競争見積の場合の指名業者選定の考え方	

第4 その他関係資料

(1) 組織及び運営についての規約等の写し、財務諸表(又は収支予算書、収支決算書等)

(2) 本事業で取り組む内容のパンフレット、見積書

(3) 事業実施場所、現況写真等

(4) その他、地方農政局長が必要と認める書類

実施状況一覧表

農業機械等利用者	農業機械等	成果目標指標	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	農業機械等の活用状況

注1) 「成果目標指標」の欄は、事業実施主体毎に設定した指標を記入する。
注2) 適宜、必要に応じて行を追加すること。
注3) リース契約が継続していることが分かる資料を添付すること。

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち農業機械等リース支援に関する事業評価シート

県名	市町村名	事業実施主体名	事業実施 年度	目標年度	成果目標の 具体的な内容	目標数値			事業評価の 検証方法	事業計画 の妥当性	適正な事業 執行	地方農政局長 等の意見
						現状	目標	結果				
〇〇県	〇〇市	(例) 〇〇農協	〇年度	〇年度	労働時間を20% 削減	15hr/10a	12hr/10a	10hr/10a		1	2	

(注) 1 「事業計画の妥当性」の欄は、計画が妥当な場合には1を、計画が不適切な場合には0を記入すること。
2 「適正な事業執行」の欄は、事業が適正に実施された場合には1，適正に実施され、更に競争入札を実施した場合には2を、それ以外の場合には0を記入すること。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート

事業名 持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
組織名又は法人名
氏名（法人の場合は代表者名）
住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先 TEL:

下記の各項目のうち、実態に応じて実際に取り組む内容について、□欄に✓を記入してください。			
	申請時 (します)	(1) 適正な施肥	報告時 (しました)
①	☐	※農産物等の調達を行う場合（該当しない □） 環境負荷低減に配慮した農産物等の調達を検討	☐
	申請時 (します)	(2) 適正な防除	報告時 (しました)
②	☐	※農産物等の調達を行う場合（該当しない □） 環境負荷低減に配慮した農産物等の調達を検討（再掲）	☐
	申請時 (します)	(3) エネルギーの節減	報告時 (しました)
③	☐	オフィスや車両・機械等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める	☐
④	☐	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしない（照明、空調、ウォームビズ・クールビズ、燃費効率のよい機械の利用等）ように努める	☐
⑤	☐	環境負荷低減に配慮した商品、原料等の調達を検討	☐
	申請時 (します)	(4) 悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑥	☐	※肥料・飼料等の製造を行う場合（該当しない □） 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐
	申請時 (します)	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑦	☐	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐
⑧	☐	資源の再利用の検討	☐
	申請時 (します)	(6) 生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑨	☐	※生物多様性への影響が想定される工事等を実施する場合（該当しない □） 生物多様性に配慮した事業実施に努める	☐
⑩	☐	※特定事業場である場合（該当しない □） 排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守	☐
	申請時 (します)	(7) 環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑪	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑫	☐	関係法令の遵守	☐
⑬	☐	環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努める	☐
⑭	☐	※機械等を扱う事業者である場合（該当しない □） 機械等の適切な整備と管理の実施に努める	☐
⑮	☐	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐
<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて> ・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。 ・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。 上記について、確認しました → ☐			

（注 1） ※の記載内容に「該当しない」場合には□にチェックしてください。この場合、当該項目の申請時・報告時のチェックは不要です。
（注 2） 取り組んだ項目については、証拠書類等の作成及び保管（5年間） が必要です。ただし、証明する書類等を作成することが困難な取組を実施した場合においては、この限りではありません。

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート

事業名
持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
組織名又は法人名

氏名（法人の場合は代表者名）

住所
〒〇〇〇-〇〇〇〇

連絡先
TEL:

下記の持続可能な農業生産に係る取組の各項目のうち、農業生産活動の実態に応じて実際に取り組む内容について、□欄に✓を記入してください。

	申請時 (します)	(1) 適正な施肥	報告時 (しました)
①	☐	肥料の適正な保管	☐
②	☐	肥料の使用状況等の記録・保存に努める	☐
③	☐	作物特性やデータに基づく施肥設計を検討	☐
④	☐	有機物の適正な施用による土づくりを検討	☐

	申請時 (します)	(2) 適正な防除	報告時 (しました)
⑤	☐	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討	☐
⑥	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断	☐
⑦	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討	☐
⑧	☐	農薬の適正な使用・保管	☐
⑨	☐	農薬の使用状況等の記録・保存	☐

	申請時 (します)	(3) エネルギーの節減	報告時 (しました)
⑩	☐	農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める	☐
⑪	☐	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める	☐

	申請時 (します)	(4) 悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑫	☐	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐

	申請時 (します)	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑬	☐	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐

	申請時 (します)	(6) 生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑭	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める（再掲）	☐
⑮	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討（再掲）	☐

	申請時 (します)	(7) 環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑯	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑰	☐	関係法令の遵守	☐
⑱	☐	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める	☐
⑲	☐	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐

<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて>

・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。

・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のために農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ第三者に提供することはありません。

上記について、確認しました → ☐

（注）取り組んだ項目については、証拠書類等の作成及び保管（5年間）が必要です。ただし、証明する書類等を作成することが困難な取組を実施した場合においては、この限りではありません。

別添 44（Ⅱの第4の2（4）イ関係）

実施状況一覧表

薬用作物生産者グループ名：○○○○○

支援 対象年度	生産者名	ほ場番号	実施面積 (㎡)	実施確認結果 (㎡)	備考

注：適宜、行を追加して記入すること。

別添 45（Ⅱの第4の3（4）イ関係）

実施状況一覧表

生産者グループ名：○○○○○

支援 対象年度	生産者名	ほ場番号	実施面積 (㎡)	実施確認結果 (㎡)	備考

注：適宜、行を追加して記入すること。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（農業経営体向け）

下記の農林漁業に由来する環境負荷に総合的に配慮するための取組のうち、申請時に取り組む内容について、「申請時」の□欄に✓を記入してください。
また、実施を行った場合、「報告時」の□欄に✓を記入してください。該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入してください。

	申請時 (します)	(1)適正な施肥	申請時 (します)
①	☐	農薬の適正な使用保管	☐
②	☐	肥料の使用状況等の記録・保存に努める	☐
③	☐	作物特性やデータに基づく施肥設計を検討	☐
④	☐	有機物の適正な施用による土づくりを検討	☐

	申請時 (します)	(2)適正な防除	報告時 (しました)
⑤	☐	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討	☐
⑥	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める	☐
⑦	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討	☐
⑦	☐	農薬の適正な使用・保管	☐
⑦	☐	農薬の使用状況等の記録・保存	☐

	申請時 (します)	(3)エネルギーの節減	報告時 (しました)
⑩	☐	農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保全に努める	☐
⑪	☐	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める	☐

	申請時 (します)	(4)悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑫	☐	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐

	申請時 (します)	(5)廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑬	☐	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐

	申請時 (します)	(6)生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑭	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める（再掲）	☐
⑮	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討（再掲）	☐

	申請時 (します)	(7)環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑯	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑰	☐	関係法令の遵守	☐
⑱	☐	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める	☐
⑲	☐	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐

<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて>

- ・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
- ・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のため、農林水産省で使用し、ご本人の同意が

上記について確認しました→ ☐

環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート（食品事業者向け）

下記の農林漁業に由来する環境負荷に総合的に配慮するための取組のうち、申請時に取り組む内容について、「申請時」の□欄に✓を記入してください。
また、該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入してください。

	申請時 (します)	(1)適正な施肥	報告時 (しました)
①	☐	環境負荷低減に配慮した原料等の調達を検討	☐
	申請時 (します)	(2)適正な防除	報告時 (しました)
②	☐	環境負荷低減に配慮した原料等の調達を検討（再掲）	☐
	申請時 (します)	(3)エネルギーの節減	報告時 (しました)
③	☐	工場・倉庫・車両等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める	☐
④	☐	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないことを検討	☐
⑤	☐	環境負荷低減に配慮した商品、原料等の調達を検討	☐
	申請時 (します)	(4)悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑥	☐	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐

	申請時 (します)	(5)廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑦	☐	食品ロスの削減に努める	☐
⑧	☐	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐
⑨	☐	資源の再利用を検討	☐
	申請時 (します)	(6)生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑩	☐	生物多様性に配慮した事業実施に努める	☐
⑪	☐	排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守	☐
	申請時 (します)	(7)環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑫	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑬	☐	関係法令の遵守	☐
⑭	☐	環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努める	☐
⑮	☐	機械等の適切な整備と管理に努める	☐
⑯	☐	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐

<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて>
・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
・記入した個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のため、農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ、第三者に提供することはありません。

上記について確認しました→ ☐

環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(協議会向け)

下記の農林漁業に由来する環境負荷に総合的に配慮するための取組のうち、申請時に取り組む内容について、「申請時」の□欄に✓を記入してください。
また、実施を行った場合、「報告時」の□欄に✓を記入してください。該当しない場合は、□欄には／（斜線）を記入してください。

	申請時 (します)	(1)適正な施肥	報告時 (しました)
①	☐	農薬の適正な使用保管	☐
②	☐	肥料の使用状況等の記録・保存に努める	☐
③	☐	作物特性やデータに基づく施肥設計を検討	☐
④	☐	有機物の適正な施用による土づくりを検討	☐

	申請時 (します)	(2)適正な防除	報告時 (しました)
⑤	☐	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討	☐
⑥	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める	☐
⑦	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討	☐
⑦	☐	農薬の適正な使用・保管	☐
⑦	☐	農薬の使用状況等の記録・保存	☐

	申請時 (します)	(3)エネルギーの節減	報告時 (しました)
⑩	☐	農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保全に努める	☐
⑪	☐	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める	☐

	申請時 (します)	(4)悪臭及び害虫の発生防止	報告時 (しました)
⑫	☐	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める	☐

	申請時 (します)	(5)廃棄物の発生抑制、 適正な循環的な利用及び適正な処分	報告時 (しました)
⑬	☐	プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理	☐

	申請時 (します)	(6)生物多様性への悪影響の防止	報告時 (しました)
⑭	☐	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める（再掲）	☐
⑮	☐	多様な防除方法（防除資材、使用方法）を活用した防除を検討（再掲）	☐

	申請時 (します)	(7)環境関係法令の遵守等	報告時 (しました)
⑯	☐	みどりの食料システム戦略の理解	☐
⑰	☐	関係法令の遵守	☐
⑱	☐	農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める	☐
⑲	☐	正しい知識に基づく作業安全に努める	☐

<報告内容の確認と個人情報の取り扱いについて>

・本チェックシートにて報告された内容については、農林水産省が対象者を抽出し、実施状況の確認を行います。
・記入いただいた個人情報については、本チェックシートの実施状況確認のため、農林水産省で使用し、ご本人の同意がなければ、第三者に提供することはありません。

持続的生産強化対策事業

2 地域の生産体制強化・需要創出事業

産地形成協働計画

(茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進)

策 定 年 度：令和 年度

事 業 実 施 主 体 名：

都道府県名・市町村名：

対 象 作 物 名：

1 産地の現状（産地の状況、対象作物、取組実績、産地形成にあたっての生産、加工・調製、販売上の現状と課題等）

--

注 1：本事業で対象とする地域特産作物の現状と課題、事業に取り組む目的等について記載すること。

注 2：対象作物が薬用作物の場合は具体的な薬用作物名を記入すること。

2 成果目標

対象作物名	達成すべき 成果目標	現状値	取組初年度	取組 2 年度目	取組 3 年度目	目標年度	増減率
		（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）	（令和○年度）

注 1：事業実施計画書における「達成すべき成果目標」を記入するとともに、目標年までの中間年について目安となる目標値を記入すること。

注 2：目標は数値目標とすること。

注 3：増減率は $((\text{取組年度}) - (\text{現状値})) \div ((\text{目標年度}) - (\text{現状値})) \times 100$ で算出すること。

3 実需者等の連携者

名称（ふりがな）	※（法人・団体・個人・その他） いずれかに○をつけてください。
所在地	
電話番号	
E-mail、HP アドレス	
主な実績、業務内容	

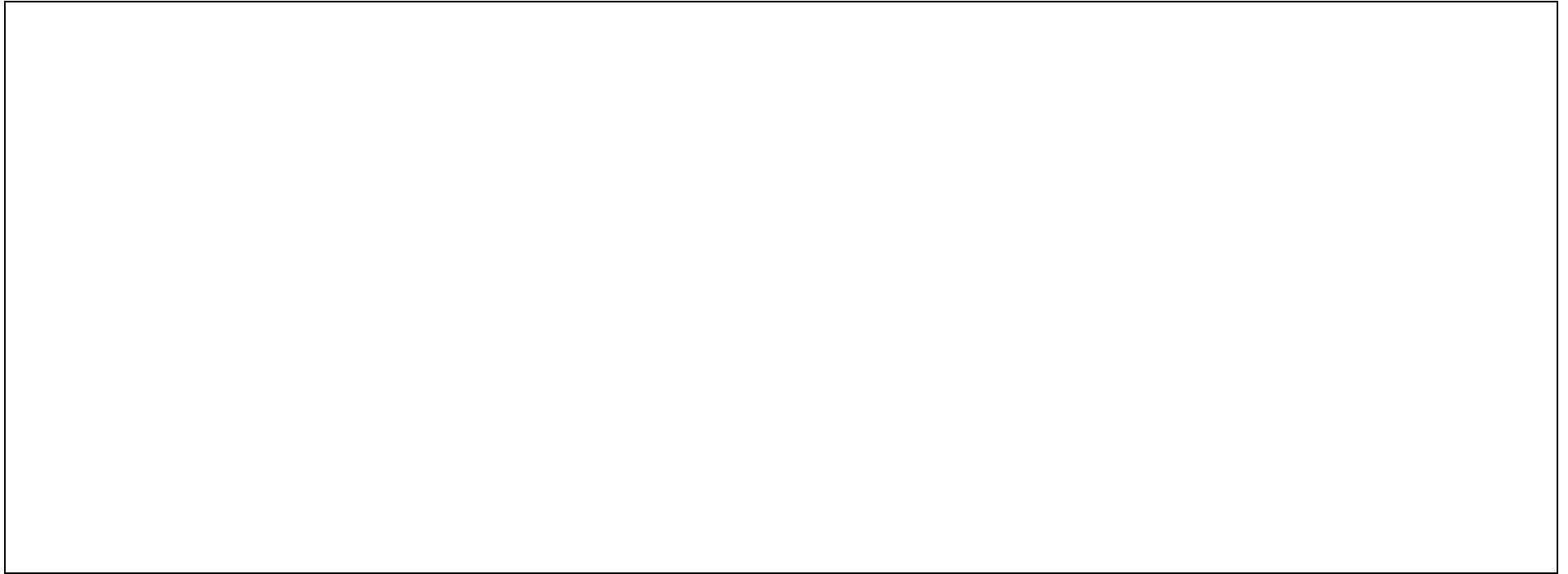
注１：産地と連携する実需者等（加工事業者、流通事業者を含む）を記入すること。

注２：実需者等が複数の場合は、適宜行を追加し記入すること。

4 事業実施主体

名称（ふりがな）	
所在地	〒
電話番号	
E-mail、HP アドレス	
主な業務実績、 業務内容	
事業実施主体の構成員、都道府県等地方公共団体、生産者団体等の関係者名（3 実需者等の連携者を除く）	

5 連携体制図



注 1：初年度において協働体制の検討や産地内の合意形成を行い、連携する実需者等を明らかにすること。

注 2：生産、加工・調製、需要・販路確保の各段階における関係者の役割分担が関係図等で分かるようにすること。

注 3：別添による作成も可。

6 年度別の取組計画

事業年度	取組の内容（概要）	備考
初年度 （令和〇年度）		
2年度目 （令和〇年度）		
3年度目 （令和〇年度）		
	※ 4年目以降の取組内容を記載しても構いません（任意）。	

注1：地域の現状と課題、連携する実需者等との役割分担及び実施体制を踏まえ、産地の目指すべき姿に即した成果目標の達成に向け、生産、加工・調製、需要・販路確保の各段階について、年度毎に計画的に行う取組を具体的に記入すること。

注2：初年度については、協働体制の検討や産地内の合意形成を踏まえて連携する実需者等を明らかにし、取組内容をより詳細に記載すること。

注3：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進の事業内容及び事業計画を踏まえて記載すること。

注4：茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進の活用は、採択される場合にあっては最大3年間となることに留意すること。

注5：別添による作成も可。

7 期待される効果

注1：産地形成協働計画に基づく取組により期待される成果・効果について、説明文やグラフ等で具体的に記載すること。

注2：別添による作成も可。

8 補助事業等の活用見込み

例：○年度○○事業（県単）：○○活動支援

注：国及び地方公共団体の補助事業又は自己資金による施設整備の予定があれば記入すること。

別添48 大規模茶産地モデル形成プラン

1 主要課題の解決に向けて取り組む内容

ア スマート農業技術導入等による飛躍的な生産性向上

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

○○○○○○○○(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(○年度)	目標値(○年度)		

注1: 目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例: 事業実施年度に○○を行い、1年後に○○、2年後に○○を実施する等)

注2: 数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3: 現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4: 適宜、行を追加すること。

イ 茶関連産業等と連携した労働力確保

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

〇〇〇〇〇〇〇(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(〇年度)	目標値(〇年度)		

注1:目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例:事業実施年度に〇〇を行い、1年後に〇〇、2年後に〇〇を実施する等)

注2:数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3:現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4:適宜、行を追加すること。

ウ 茶工場の省エネルギー化

現状と課題	
目標年度において 目指す姿	
取組内容(注1)	

〇〇〇〇〇〇〇(注2)		設定の考え方(注3)	事後の検証方法
現状値(〇年度)	目標値(〇年度)		

注1:目標年度までの取組を可能な限り時系列に沿って記載すること。

(例:事業実施年度に〇〇を行い、1年後に〇〇、2年後に〇〇を実施する等)

注2:数値や数量、割合などで具体的に示すことができる定量的な目標を1つ以上設定すること。

注3:現状を明らかにし、どのような取組を行うことにより、具体的にどの程度の効果が期待され、その結果としてどの程度計画を達成できるかを記入すること。

注4:適宜、行を追加すること。

2 目標年度における達成状況(自己評価。本項目は評価報告書作成時に記載すること。)

項目	目標値	実績値	自己評価	要因分析
ア スマート技術導入等による飛躍的な生産性向上				
イ 茶関連産業等と連携した労働力確保				
ウ 茶工場の省エネルギー化				

注:適宜、行を追加すること。

Ⅱの第４の６
茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち葉たばこ品質向上支援に係る様式集

作成書類名	様式名	作成主体		提出又は通知先	時期
		生産者	事業実施主体		
令和○年度葉たばこ品質向上支援 生産者支援実施（変更）計画一覧表	別添49		○	国（地方農政局等）	公募申請時
令和○年度葉たばこ品質向上支援 生産者別実施（変更）計画書	別添50	○		事業実施主体	
確認計画（事業実施主体用）	別添51		○	生産者	
確認野帳（事業実施主体用）	別添52		○	生産者	
令和○年度葉たばこ品質向上支援実績報告書兼補助金交付請求書 （添付資料） 令和○年度葉たばこ品質向上支援補助金交付請求明細書（別添54－１）	別添53	○		事業実施主体	
令和○年度葉たばこ品質向上支援補助金交付請求明細書	別添53－１	○		事業実施主体	
令和○年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進 （葉たばこ品質向上支援）補助金の交付額の確定通知書	別添54		○	生産者	
令和○年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進 （葉たばこ品質向上支援）に係る実施確認結果通知書 （添付資料） 実施確認一覧表（別添56－１）	別添55		○	生産者	
実施確認一覧表	別添55－１		○	生産者	

令和〇年度葉たばこ品質向上支援 生産者支援実施（変更）計画一覧表

生産者番号	生産者名	葉たばこ作付面積（㎡）	品質向上に資する取組内容	支援対象面積（㎡）	取組に要した資材費 ①	消費税額（円） ②	補助金額（円） ③＝（①－②）×1／2	事前確認
			肥料名：					
			農薬名：					
			生分解性マルチ名：					
			その他：					
計				0	0	0	0	
			肥料名：					
			農薬名：					
			生分解性マルチ名：					
			その他：					
計				0	0	0	0	
			肥料名：					
			農薬名：					
			生分解性マルチ名：					
			その他：					
計				0	0	0	0	
			肥料名：					
			農薬名：					
			生分解性マルチ名：					
			その他：					
計				0		0	0	
			肥料名：					
			農薬名：					
			生分解性マルチ名：					
			その他：					
計				0	0	0	0	
合計				0	0	0	0	

注1：「消費税額」の欄は、課税事業者がいる場合に記入すること。

2：「事前確認」の欄については、以下の基準で該当する数値を記入。

2 全ての取組において、作付状況、支援対象面積、取組に使用する資材費（単価、使用量）、補助金額等の事前精査を行っている場合。

1 2以外の何らかの方法で事前精査している場合。

0 事前精査を行っていない場合。

3：適宜、行を追加するなどして記入すること。

令和〇年度葉たばこ品質向上支援 生産者別実施（変更）計画書

市町村名

1 生産者（法人等）の基礎情報

生産者番号		課税事業者の有無	有
氏名（法人名）			無
住所（所在地）			
栽培面積（㎡）			

- 注1：「生産者番号」の欄は、事業実施主体が生産者ごとに番号を割り当てて下さい。
- 2：「栽培面積（㎡）」の欄は、生産者が栽培している葉たばこの栽培面積の合計を記入すること。
- 3：「課税事業者の有無」の欄は、生産者が消費税課税事業者である場合は有に○、そうでない場合は無に○をすること。

2 品質向上の取組一覧

	品質向上に資する取組内容	葉たばこ作付情報			取組面積（㎡）	取組に要した 資材費（円） ①	消費税額（円） ②	補助金額（円） ③＝（①－②）×1／ 2
		資材名	ほ場番号	ほ場地番				
1	肥料							
2	農薬薬剤							
3	生分解性 マルチ							
4	その他							
5								
計								

- 注1：ほ場面積の記入に当たっては、栽培ほ場のけい畔や法面など作物が栽培されていない面積は除いてください。
このため、①実測又は②土地登記簿や固定資産課税台帳等の既存資料で面積を把握し、記入してください。
なお、土地登記簿等の既存資料では、けい畔や法面も含んだ面積として整理されている場合がありますので、
その場合は、事業実施主体に面積の算出方法についてお問い合わせください。
- 2：ほ場内の一部で栽培している場合は、実測により栽培されている部分の面積を把握して下さい。
- 3：ほ場面積の記入に当たっては、㎡未満の小数点以下は切り捨ててください。
- 5：適宜、行を追加して記入して下さい。

別添51（Ⅱの第4の5（3）イ（イ）関係）

確認計画（事業実施主体用）

生産者番号	生産者名	確認時期		確認体制 （関係機関の協力体制含む）		確認方法		備考
		事前確認	事後確認	事前確認	事後確認	事前確認	事後確認	

注1 適宜、行を追加して記入すること。

2 確認時期欄は、予定時期を記載する。

3 確認体制欄は、確認を実施する機関名を記載する。

4 確認方法欄は、現地確認・書類確認等の方法を記載する。

別添52（Ⅱの第4の5（3）イ（イ）関係）

確認野帳（事業実施主体用）

実施確認者	1 所属・氏名	
確認協力者	2 所属・氏名	
	3 所属・氏名	

実施日	○年○月○日 ～ ○日（書類審査 又は現地確認）
立会人	計 名

生産者番号	生産者名	葉たばこ 作付面積（㎡）	取組内容	資材等確認欄			事業実施主体によ る確認結果
				納品書	領収書	使用実績	

注 1 適宜、行を追加して記入すること。

別添53（Ⅱの第4の5（3）ウ（ア）関係）

番 号
年 月 日

〇〇〇〇（事業実施主体名）の長 殿

所 在 地
生 産 者 氏 名

令和 年度葉たばこ品質向上支援実績報告書兼補助金交付請求書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号）別紙6のⅡの第4の5（3）ウ（ア）に基づき、その実績を報告します。

なお、併せて、補助金〇〇〇円の支払を請求します。

（添付資料）

- ・支援補助金交付請求明細書（別添54－1）

令和〇年度葉たばこ品質向上支援補助金交付請求明細書

生産者名	葉たばこ 作付面積 (㎡)

品質向上に資する 取組内容	支援対象面積 (㎡)	取組に要した 資材費 (円) ①	消費税額 (円) ②	補助金額 (円) ③ = (①－②) × 1/2
肥料				
農薬				
生分解性マルチ				
その他				
計	0	0	0	0

注：適宜、行を追加して記入すること。

別添54 （Ⅱの第4の5（3）ウ（イ）関係）

番 号
年 月 日

生産者氏名 殿

所 在 地
事業実施主体名
代 表 者 氏 名

令和 年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（葉たばこ品質向上支援）補助金の交付額の確定通知書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号）別紙6のⅡの第4
の5（3）ウ（イ）に基づき、茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（葉たばこ品質向上支援）
補助金の交付額を確定します。

別添55（Ⅱの第4の5（4）ア（カ）関係）

番 号
年 月 日

生産者氏名 殿

所 在 地
事業実施主体名
代 表 者 氏 名

令和 年度持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
（葉たばこ品質向上支援）に係る実施確認結果通知書

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号）別紙6のⅡの第4
の5（4）ア（カ）に基づき、実施確認結果を通知します。

（添付資料）

- ・ 実施確認表（別添56－1）

実施確認一覧表

生産者名

品質向上に資する 取組内容	支援対象面積 (㎡)	取組に要した 資材費 (円) ①	消費税額 (円) ②	補助金額 (円) ③ = (①－②) × 1/2
肥料				
農薬				
生分解性マルチ				
その他				

注：適宜、行を追加して記入すること。